

困りごとや生きづらさを抱えながらも、誰にも相談できない、どこに相談したらいいのかわからない人・世帯などに対するアウトリーチ(※)の手法を取り入れた伴走型の支援を推進します。

また、狭間の課題を抱える方・世帯にも支援を届けられる包括的な仕組みを構築します。

※アウトリーチとは、対象者を把握し、さまざまな形で、必要な人に必要なサービスと情報を積極的に届けることをいいます。

取組みの方向性	具体的取組み
地域住民等と協働した支援体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> 地 ・できる範囲で相談を受け止め、必要な支援につなぐ。 地 社 市 ・制度以外の社会資源を創出し、つながりや支援の選択肢を増やす。 地 社 市 ・非行や犯罪をした人の立ち直りのため、国、県、保護司、更生保護女性会、BBS会、協力雇用主等と連携して再犯防止の取組みを進める。 社 市 ・重層事業を通じ、分野を超えて、地域住民や多様な主体との連携を促進する。 社 市 ・「住民に身近な圏域」で多分野の関係者がチームとなり、地域課題を話し合い解決につなげる取組みを進める。 市 ・民生委員・児童委員、保護司会の活動を支援する。
本人の思いに寄り添った伴走型支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> 地 ・地域や近所で悩みを抱える人に対し、声をかける。 地 社 市 ・生きづらさを抱える人の強みや願いに着目した支援を実施する。 社 ・必要な支援が届いていない人や世帯へ、手紙やSNSなども活用したアウトリーチの機能を充実する。 社 市 ・重層事業等を活用して、支援関係機関等の連携を強化し、一人ひとりの課題に応じた適切な制度や支援、保健医療・福祉サービスにつなぐ。 市 ・生活困窮者自立支援事業などを支援関係機関等と連携して実施し、生活困窮や居住、就労などの課題解消に向けて支援する。

Voice!

地域のみなさんの声

働きたいけど、どうしたらいいのかわからなかった時に、「どんな仕事がいいのか、どんな働き方がいいのかを、一緒に探していこう」と言われて不安が減りました。

重層会議で取り上げたケース当事者

誰かに話すことで、辛さや悲しみを手放せることがあります。今必要でなくても、「話せる場所がある」と知っておくことが、こころのお守りになるんです。

久留米グリーンケアcafe～やすらぎの部屋～

(写真:久留米グリーンケアcafe代表ヒアリング時の様子)

